

平成 29 年度 高知県地球温暖化防止県民会議 幹事会要旨

日 時 : 平成 30 年 3 月 28 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00

場 所 : 高知共済会館 3 階「藤」

出席者 : 別紙名簿のとおり (8 名出席、2 名欠席)

1 開会

当日の出席幹事は 10 名中 8 名 (開会時は 7 名) であり、本日の幹事会が成立していることを報告した。

2 副幹事長の選任

副幹事長 山本幹事 (高知市環境部長)

3 報告事項

(1) 県民会議の会員数について

県民会議の会員数について報告

(H30. 3. 28 現在、253 団体、昨年 5 月の総会以降 6 団体減)

(2) 各部会からの報告

ア 県民部会について

(ア) 部会・ワーキング・委員会の開催状況

部会 3 回開催

レジ袋削減ワーキング 4 回開催

交通エコポイント活用社会還元事業監理委員会 2 回開催

地球温暖化防止セミナー実行委員会 5 回開催

(イ) 事業の実施状況

a 地球温暖化防止セミナー

10 月 21 日高知大学朝倉キャンパスで開催 来場者 42 名

第 1 部 「地球温暖化防止に向けての地域におけるバイオマスの利用」の講演

第 2 部 ゲストトーク&エコセッション「語ろう☆地域×環境×未来のコト」

b メールメンバーへの情報発信

6 回 (6 月、8 月、10 月、11 月、2 月、3 月) 実施

地球温暖化防止に係る様々な取組や県民が日常生活の中で実践するヒントになる情報の提供

c 地域イベント等への出展による啓発

ブース出展 5 回 (ブース来場者数合計 570 名)

パネル出展 2 回 (イベント来場者数合計 1,367 名)

キャンペーン企画出展 1 回 (ブース来場者数 27 名)

d ZEH・次世代自動車の普及啓発

・ZEH、次世代自動車の普及啓発パネルの作成

・ハウスメーカー、自動車販売店 5 社に対し、ショールーム等への設置依頼し、承諾を得た

e 環境家計簿の利用促進

・登録者数 : 43 名

- ・平成 29 年 1 月～12 月までに記録された CO2 排出量の合計：149,120.777kg
- f レジ袋削減取組推進
男も（女も）持つぞ！マイバッグキャンペーン 2017 参加 144 団体 3,041 名
CO2 削減量合計：4,275kg
- g 交通エコポイント活用社会還元事業
当該事業への寄附について、企業の CSR 活動やエコアクション 21 の活動レポート等
に実績として掲載できることを積極的に PR。
・利用者数：4,163 名
・寄付金額：1,429,402 円
事業内容と寄附企業の貢献について広く周知するため、とさでん交通との共同
企画により路面電車全車両（50 車両）に車内ポスターの掲示を行った。

イ 事業者部会について

(ア) 部会・ワーキングの開催状況

- a 部会は 1 回開催（参加者 24 名）
平成 28 年度の事業報告、平成 29 年度の事業計画の説明
高知県新エネルギー推進課による「高知県地球温暖化対策実行計画の改定につ
いて」講話
- b ワーキングは 2 回開催（参加者合計 8 名）
・平成 29 年度高知県地球温暖化防止県民会議事業者部会について
・環境経営パンフレットについて

(イ) 事業の実施状況

- a ストップ温暖化宣言事業者推進事業
環境経営に取り組む事業者を宣言事業者として広く募集し、新たに 7 社が宣言、
通算 116 社が宣言済み
- b 環境フォーラム
3 月 5 日に開催 参加者 40 名
合弁会社地球村研究室・東北大学名誉教授の石田秀輝氏による基調講演
高知県環境研究センター、山村貞雄氏による講話
エコアクション 21 中央事務局による表彰
- c エコアクション 21 推進事業
エコアクション 21 基礎セミナーの開催
高知市 参加者 74 社 92 名
四万十市 参加者 21 社 28 名
認証登録事業者は 3 月 13 日現在 237 社
- d 省エネアドバイザー派遣事業
高知商工会議所の会報及び県下の各商工会議所の会報で利用を呼びかけた結果、
9 社に計 16 回派遣を行った。
- e 省エネ機器導入促進事業
ホームページで、事業者の省エネ機器導入に関する補助金制度等の情報提供を
行った。省エネ設備の導入を目的とした経営力向上計画の申請件数 4 件。

ウ 行政部会

(ア) 部会・ワーキングの開催状況

- a 部会は 2 回開催

第1回は、平成29年度事業計画の確認と各事業への協力の要請を行った。
第2回は、平成29年度活動報告、平成30年度事業計画及びワーキングの取組内容の審議、行政部会からの県民会議会長表彰の推薦について協議のうえ承認を得た。

- b ワーキングは3回開催
実行計画（事務事業編）の効果的な運用ワーキングを1回
実行計画（事務事業編）の更新ワーキングを2回
- (イ) 事業の実施状況
 - a 地方公共団体実行計画の策定の推進
事務事業編については、田野町以外の市町村は策定済み。田野町は、30年度に策定予定。
 - b エコオフィス活動の推進
 - ① 環境マネジメントシステム導入
9市町村が導入済み、3市町が導入予定・検討中
 - ② エコドライブ
高知市において職員を対象とした啓発等を実施
 - ③ エコ通勤
実施期間10月25日～10月31日
土佐町、いの町、越知町、四万十町、大月町、県庁（16所属）で83名が参加 0.440t-CO₂を削減
 - c グリーン購入の推進
4町村で策定予定
 - d 地球温暖化防止推進員の活用と連携
高知市、南国市、香南市、県の主催するイベント等で、推進員を活用した普及啓発を行っており、65名の推進員を派遣
 - e 県民への地球温暖化防止の啓発
 - ① 節電・省エネの対策
庁舎・公有施設において28市町村が節電の取組を強化した。
 - ② レジ袋削減キャンペーンの広報および参加
地域住民等へ県民部会開催のレジ袋削減キャンペーンの周知を市町村に促すとともに、職員への参加を呼び掛け、全34市町村と県庁で合計1,433名が参加。

○幹事からの意見等

幹 事 昨年、地球温暖化対策実行計画の策定支援や、環境マネジメントシステム導入に向けての支援ができる旨を伝えに、県内市町村を訪問したが、反応があったのは梶原町だけであった。他の市町村は、職員不足で多忙であることを理由に、温暖化対策の取組が十分ではなく、取組姿勢に温度差があるという印象を受けた。

2 協議事項

- (1) 総会第1部について以下の説明を行った。
 - ア 平成30年度高知県地球温暖化防止県民会議総会（次第案）
 - イ 第1号議案 平成29年度高知県地球温暖化防止県民会議事業報告（案）
 - ウ 第2号議案 平成30年度高知県地球温暖化防止県民会議事業計画（案）
 - エ 第3号議案 平成30年度地球温暖化対策普及啓発（案）

○ウ 第2号議案 平成30年度事業計画(案)の説明内容

(ア) 県民部会

「家庭での二酸化炭素削減等の取組を、成果を見える化しながら進めていき、温暖化防止活動を行う県民をあらゆる機会をとらえて増やしていく」ことを事業目標とする。

29年度からの変更点は、①の「レジ袋削減取組推進」と、③の「公共交通エコポイント社会還元及び普及啓発」に集中していただくかたちで、事業の整理を行っている。

(イ) 事業者部会

「事業者の業務に関わる二酸化炭素排出削減等の取組を、その成果を見える化しながら進めていき、温暖化防止活動を行う事業者やその従業員を持続的に増やす仕組み作りをする」ことを事業目標とする。

29年度からの変更点は、県民部会と同じく事業を一定絞り、①の「エコアクション21の取得促進」と、②の「省エネアドバイザーの周知・派遣」に力を入れていただくかたちで事業の整理を行っている。

(ウ) 行政部会

「行政自らの温暖化対策を推進するとともに、県民、事業者と一体となった取組を推進する」ことを事業目標とする。

29年度は、昨年度と同じく7つの事業に取り組む。内容は項目としては変わっていないが、ハード対策等にも力を入れていくような事業を行っている。

○エ 第3号議案 平成30年度地球温暖化対策普及啓発(案)の説明内容

平成30年度地球温暖化対策普及啓発事業という新たな事業を実施し、この事業を県民会議の事業と位置付けて行っていきたいと考えている。

2015年末にパリ協定が採択されて、温暖化対策の強化が図らなければならないと言われている中で、県の実行計画を改定する際に県民世論調査を実施した結果、温暖化問題に対して、9割近い方が高い関心を持っているが、CO₂削減目標の認知度の低さ、実際に実施できる取組の実施率の低さが課題となっている。

この背景を踏まえて、地球温暖化問題に対する認知度の向上のために、ツール、メディアの活用による効果的な情報の発信としてホームページの情報発信の充実、情報の拡散等を行っていきたい。

また、蛍光灯からLEDへの買い替えキャンペーン等を実施することにより、地球温暖化対策を実行する県民の数を増やしていく試みを実施したいと思っており、このようないくつかの行動をプロポーザル提案によって募集し、事業者を決定して、ホームページの刷新とともに普及啓発の充実を図って、新たな事業として実施していきたいと考えている。

○幹事からの意見等

幹事 普及啓発の「地球温暖化対策を実行に移す県民の増」について、具体的にどんなことを考えているか。

事務局 プロポーザルで事業者に提案をしてもらうが、例えば、LEDや次世代自動車への買い換えキャンペーンを、マスメディアを使い周知し、行動に

- 移す県民の方を増やしていきたいと考えている。プロポーザルには部会の事務局の方に審査に入っていただくことも現在考えている。
- 幹事 エコドライブについての取組が市町村数が1のままだが、何か対策をとるべきではないか。
- 事務局 担当課との調整が必要であるが、安全運転講習時に合わせてエコドライブの周知を行う手もある。まずはできることとして、公用車内にエコドライブに対する注意事項を掲示し、職員への意識付け行っていきたいと考えている。
- 幹事 バスをできるだけ利用し、例えば中心部へ車の乗り入れの禁止など、斬新な対策をとれば簡単にCO2削減になると思うが。
- 事務局 県の権限では無理だが、一つのご意見として賜る。県民の理解も必要となってくるし、まずは規制に走る前に、自主的に実施してもらえような取組をやっていただくべき。現在、県では520運動として、5日と20日には公共交通の利用を促進しているので、公共交通の担当課と相談してみる。
- 幹事 パーク・アンド・ライドは一定の利用者があるが、パーク・アンド・ショッピングライドではなかなか利用が伸びない。協力店にも協力依頼をしているが、増やせていない状況である。
- 事務局 地球温暖化対策を実行に移す県民の増というところで、高知市では小学生や家庭を対象にエコチャレンジ事業を行っており、子供が親を巻き込む取組として好評である。今後も参加する学校を増やしていきたい。
- 幹事 エシカル消費を意識し、消費者、企業を巻き込んでの啓発活動が必要であり、レジ袋削減の様などつつきやすい簡単な取組を県内全市町村が参加したことにより、県内にも良い影響が出てくると思う。今後も、事業者部会、県民部会、行政部分それぞれが連携していければいいと思うので今後も協力をお願いしたい。
- 事務局 確かに今までは部会間の連携が弱かった気がしていたので、今後、連携強化を1つの課題と捉えてやっていきたい。

第1号議案から第3号議案については、承認された

(2) 総会第2部について

総会第2部の講演内容について事務局案を提示し、意見を求めた。

地球温暖化問題が我々の生活に密接した喫緊の課題であることを県民に分かりやすく伝え、地球温暖化に対して問題意識を持つ県民および地球温暖化防止活動に取り組む県民の増加を図るために、県民に身近な問題として認識されやすい「生物多様性」をテーマに、国立環境研究所生物・生態系環境研究センター生態リスク評価・対策研究室長五箇公一氏をお招きし講演していただきたい。

(※聴講者は、県民会議会員以外の一般県民からも広く募ることとしたい)

○幹事からの意見等 なし

講演内容については、事務局案のとおり承認された。

(3) 県民会議の表彰について

ア 会長表彰

行政部会から1団体の推薦

イ 部会長表彰

県民部会から10団体、事業者部会から3団体の報告

ウ 交通エコポイント寄付・感謝状贈呈

交通エコポイント活用社会還元事業の管理主体から、同事業に対する寄附を行った91団体を報告

○幹事からの意見等 なし

総会提出資料については、推薦どおり表彰することで承認された。

(4) 交通エコポイント活用社会還元事業について

交通エコポイント活用社会還元事業の管理主体の指名（特定非営利活動法人環境の杜こうち）、「ですかでゴー」事業の実施要領の一部改正（事業実施期間の延長（平成31年3月31日までとする））について事務局から提案し、提案どおり承認された。

3 その他

(1) 高知県の2015年度温室効果ガス排出量、吸収量の算定結果について

平成30年3月現在の暫定値について説明した。

(2) その他

次回幹事会の開催時期について

平成30年度の幹事会について、部会からの提案事業を推進するにあたり環境共生課が所管している高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用する際は申請前に幹事会に諮る必要があるため、補助金の募集締め切りに合わせて7月、9月、11月に幹事会の開催を予定し、補助金申請等の必要に応じて開催すること、また、3月はその年度の事業報告と総会に付議する議案について審議するため、必ず開催することを報告し閉会した。

○幹事からの意見等

幹事 3月の幹事会の開催時期をもっと早い時期にした方がいいと思うが。

事務局 翌年度事業費予算の決定も関係してくることから、どうしても県議会2月定例会後の3月下旬頃になってしまう。

以上